

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま発達支援室川越		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		~ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		~ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動に飽きが出ないようプログラムに配慮をし、買い物体験、外食体験、芋ほりなど戸外活動を積極的に取り入れている。	開設初年度ということもあり、全職員が過去の経験から良い体験・経験が提供できるプログラムを立案している。	保護者から、普段楽しみにしている戸外での行動や行先を集約してプログラムに取り入れられるように全職員で検討をする。
2	連携をしている市内の農業法人にて栽培・収穫体験等の活動を増やして自然の中で味わえる空間を楽しんでもらう。	今年度実施した芋ほりでは、おひさま農園と名付けてみんなのためにある農園であることを意識してもらい、全児童に体験してもらえたことから、それぞれ異なる体験の感想を得られることができた。	時間に制約があるが、保護者参加など考えていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催ができていないため、保護者とのコミュニケーション、保護者同士の交流の機会が不足している。	保護者が個別であっても、参加できるようなスケジュール、プログラムの構成を考える。保護者支援という側面では研修や講習の案内や紹介などをしていきたい。	保護者が参加できるイベントや行事の開催を検討し、施設での友達との交流や活動の様子を見学してもらう機会をつくる。
2	保護者へ行事等の様子を文字でしか伝えられていない。プライバシーの観点からSNS等の利用に慎重になってしまっている。要望も多いため最重要課題として取り組みたい。	プライバシーへの配慮とその手段と方法。	他施設の運営も参考にして今可能な手段・方法で実施していく。
3	おひさま以外の福祉施設との連携、特に地域との連携の機会を設けることができていない。	地域でのイベント等、情報収集が出来ていなく交流できる行事等の機会を探す。	地域の人と接することが出来る場所での活動を考える。地域で行われるイベント等への参加など、情報収集が課題。